

令和5年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.2%	○				
算数	62.5%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%	○				
情報の扱い方に関する事項	63.4%	○				
話すこと・聞くこと	72.6%			○		
書くこと	26.7%	○				
読むこと	71.2%					○

【考察】

- 「読むこと」の領域では、出題されている資料や文章をよく読み、目的に沿った必要な情報を見つけたり、中心となる語句や文などを抜き出したりすることができました。また、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめて文章にすることができました。
- 複数の資料を読み解いて書くなどの条件付き作文に課題が見られました。文章や作文を書く際には、必要に応じて条件をつけたり、資料から読み取る問題を出したりするなどして、重点的に指導していきます。また、文章に合わせた正しい漢字を書いたり、適切な敬語を選択したりする問題に課題が見られました。日々の漢字練習や日常会話での正しい敬語の使い方の指導に力を入れていきます。さらに、文章や言葉の理解、漢字の正しい読みにつなげるため、音読は必須であると考えますので、毎日のご家庭での音読に加えて、学校でもさらに取り組んでいきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%	○				
図形	48.2%					○
変化と関係	70.9%			○		
データの活用	65.5%	○				

【考察】

- 図形の名称そのものを覚えるだけではなく、その図形の意味や性質が理解できています。問題文をよく読み、その問題文の場面をイメージしながら、問題解決に取り組むように指導していきます。
- 「数と計算」「データの活用」の領域において、示された日常生活の場面や資料を理解し説明することに課題が見られました。計算力は身につけていますが、計算式の立式につまずきが見られました。普段の授業から、問題文の内容をよく把握し、式や言葉、図などを用いて考えることに力を入れていきます。また、授業では話し合い活動を重視し、多様な考えに触れることができるようにしていきます。